



# 須留が峰

令和6年度  
No. 16

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

**To Be a Good School** 令和6年12月5日 発行



## 早、12月

先週末まで11月の気分でしたら、週明けから12月が始まっています。11月には「31日」がないことに加えて、月替わりがこの土日であったせいか、12月が何の前触れもなく、突然に現れてきた感じがして、少々面食らいながらの今週のスタートです。



<12/2(月) 小春日和の中で>

先週に期末テストを終え、いよいよ学期末を迎えます。3年生は17日(火)から19日(木)までの3日間、1、2年生は18日(水)・19日(木)の2日間にわたり、期末保護者会を予定しています。この2学期でのお子様の成長ぶりはいかがでしょう。1年生はずいぶん背格好が大きくなり、よく笑い、進んで挨拶のできる「養父中生らしさ」が板についてきました。2年生については新人戦や班別の校外学習を経験した頃から、急に顔つきに自信めいたものが見え隠れし始め、文化祭のステージでは1人1人が本当に大きく見えました。3年生に至っては、体育大会や文化祭を「味のある3年生カラー」で盛り上げ、大成功に導いてくれました。今や風格すら感じさせる3年生。その集団としてのよさやパワーをこれからは一人一人のエネルギーに換えて、体調管理に十分に留意しながら受験に向けて黙々と勉強に取り組んでほしいものです。

12月3日(火)、第2学年の学年PTA事業として「進路学習会」を開催したところ、平日にもかかわらず、多数の保護者の皆様にご出席いただき、生徒たちの今後の進路についてともに見つめる有意義な会になりました。今回も、昨年度に引き続き、県立八鹿高等学校の松元 伸介 先生をお招きし、「高校生活の充実に向けた中学校での過ごし方」と題して講演をいただきました。その後、本校教員から兵庫県の公立高校等の入試制度について説明いたしました。



<12/3(火) 2年生:進路学習会>  
講義される八鹿高校の松元先生

松元 先生からは、「答えのない時代」と言われる中で、高校進学をはじめ、大学入試や就職等、自らの人生を切り拓いていくには、**中学校・高校の間での「多様な経験」を通した「知(学び)の積み重ね」が一層大事になってくる**というお話をいただきました。



<12/3(火) 2年生:進路学習会>  
ペアワークに先生も加わって

そのためにも「失敗を恐れないこと(失敗しないと成功しない!)」「失敗を許容し、カバーし合える環境づくり(チームビルディング)」が大切であり、その中で「自分の得意を探し、得意を磨いていってほしい」と話されました。互いの「得意」を持ち寄れば「おいしいスープ」ができるという『スープの石』という物語の朗読もいただきました。

そういえば、宿題をしっかりとこなせる力も高校では必要となるので、その力も中学校でしっかりと鍛えてきてほしいという

**Do something Do more Do better (まずやろう もっとやろう よりよくやろう)**

言葉もありました。2年生に限らず、今の養父中生にとって、いささか耳の痛い助言でした。

今学期も「多様な経験」を積み重ねてきた生徒たちです。保護者の皆様におかれましては、期末保護者会に向けてご家庭でのお子様の状況やお子様へのかかわりについて、今一度、整理いただきますようお願いいたします。そのことにより、期末保護者会が学校からの一方通行（あるいはご家庭からの一方通行）で終わるのではなく、お子様の学校生活と家庭生活がしっかりと同期する有意義な機会となればと願っています。

## ✎ 全国学力・学習状況調査の結果の概要（その1） ✎

今年度4月18日に小6と中3の児童生徒を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果概要が、養父市広報誌「やぶ」11月号に掲載されています。ご覧になられましたでしょうか。この掲載を受けて、本校の結果につきましても、その特徴的な概要をお伝えします。

\*この調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことをご確認ください。

<教科に関する調査から> \*全国平均値と比較して、±5ポイント以内の差は「同程度」と表現しています。

教科	国・県との比較	結果の考察
国語	同程度	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">解答状況を踏まえた考察と今後の改善方策について記載しています。</div>
数学	同程度	

<生徒質問紙による調査から>

養父市全体の結果と同様に、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」といった問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」といった**肯定的な回答**の割合が、国・県の状況よりも高い傾向にありました。

その他の項目については、次号でまた取りまとめてお伝えします。

**「ABC + DE」はすべてのベース**